



2024年4月8日

各位

会社名 日創プロニティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 石田 徹
(コード:3440 東証スタンダード・福証)
問合せ先 取締役経営企画室長 諸岡 安名
(TEL 092-555-2825)

「第11回IRグッドビジュアル賞」初受賞のお知らせ

当社は、IRグッドビジュアル賞実行委員会（一般社団法人日本IR協議会、株式会社バリュークリエイト）が主催する「第11回IRグッドビジュアル賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

記

1) 本賞趣旨と受賞企業について

IR活動は、企業価値を投資家にいかに伝えるかが大きなテーマであり、IR説明資料のページ数は年々増加傾向にあります。そうした何枚にもわたるIR資料の中で、特に1枚のスライドが、シンプルでありながら印象深く企業価値を表現していることがあるという考え方の元、本IRグッドビジュアル賞は「1枚であっても企業価値を効果的に伝えるIR資料のスライド」を表彰し、各上場企業のIR担当者に具体的なヒントを提供することを目的としております。

第11回である今回は、67社の上場会社から応募があり、その中から、当社を含む下記の7社の受賞が決定いたしました。

第11回IRグッドビジュアル賞受賞企業一覧 ※証券コード順

証券コード	企業名	受賞の状況
3440	日創プロニティ株式会社	初受賞
4204	積水化学工業株式会社	2回目の受賞
5301	東海カーボン株式会社	2年連続3回目の受賞
5805	SWCC株式会社	初受賞
7012	川崎重工業株式会社	2年連続2回目の受賞
8053	住友商事株式会社	初受賞
8252	株式会社丸井グループ	2回目の受賞

以上7社

2) 審査のポイント

①ビジュアルの質・完成度

・・・情報量が適切か、フォント・色使い・グラフ・図表の取り扱いは適切か等

②メッセージ伝達力

・・・ストーリーがあるか、経営の方針・戦略がよくあらわされているか等

③株主価値についての示唆があるか

・・・財務数値が効果的に盛込まれているか、主要指標と今後の業績の関係が明確か等

④新規性・チャレンジ性

・・・新鮮さ・斬新さがあるか、(継続応募先については) どのように進化しているか等

3) 当社の受賞スライド

2023年10月13日開示「2023年8月期 決算説明会資料」P21

継続的なM&A投資による企業価値向上と投資実績

2016年3月に吾孺ゴム工業をM&Aし、**グループ経営**に移行してから、順調にグループ社数は増加。当初手探り状態だったM&A企業受け入れ**ノウハウも順調に蓄積**しており、更なるM&A推進により、**グループとしての成長加速**を目指す。

グループ経営開始時より
投じた金額総額 (※1)

51億円

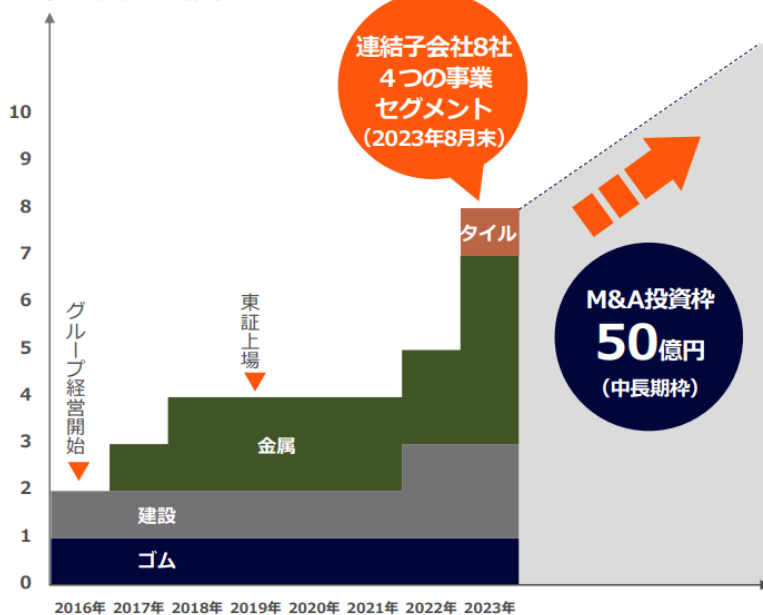
連結子会社が8年で創出した
当期純利益総額 (※2)

19億円

※1：2016年～2023年における子会社株式取得費用、M&A取得費用、子会社設立出資金の総計

※2：2023年8月期連結純資産から日創プロニティ単体純資産を除外した上で、受取配当金を足し戻し、負ののれん発生益の影響を除外したもの

連結子会社数 (社)



当社の受賞スライドを含む資料は、下記よりご覧ください

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3440/tdnet/2345516/00.pdf>

4) 本賞審査員のコメント

■コメント1

■投資金額と利益のメッセージ、とてもわかりやすいです。
■連結子会社の数に関しても工夫があって良いと思いますが、実際何社なのか？というのがわかりづらいので、数字で補足されるとよりわかりやすくなると思いました。

■コメント2

■シンプルで良い。

■コメント3

■社数よりも売上or利益額で示す方がわかりやすいと感じました。
■また、左側の投資金額に対して8年で生まれた純利益を示されていますが、単年の数字があるとリターン水準がわかってより良いと感じました。

■コメント4

■子会社数をグループ経営移行前と対比してみても？M&Aにより事業分野が拡大していることが旨く説明できている

■コメント5

■MAへの意思表示とトラックレコードがわかりやすく明記されていて今後の楽しみ。

■コメント6

■色使いが秀逸。強調すべきところが目立っておりメッセージを読み取りやすい。
■M&A投資実績を、過去8年の創出利益総額と投資総額で表したのも説得力がある。グラフも最低限の必要情報にそぎ落としてあり、工夫がみられる。

■コメント7

■これはいい資料です。
① ページタイトルの下に重要なコメントを入れて理解を助けている。差し色を効果的に使用。
② 色合いがいい。落ち着いていて見やすい。
③ 左の金額の表示は大変わかりやすい。
④ 右側のグラフは、単にグループの連結会社数の増加を示しているだけなのに、成長をイメージさせている。新たな事業を積み上げて成長している様子がわかる。
⑤ 今年度で終わっておらず、右側に余白を延ばして今後の成長も期待させるいい工夫。
■ 資料全体としては、ページ上部にそのページの内容のまとめのコメントがあるページと無いページがある。全ページに入ると優秀だと思う。

■コメント8

■ どういうセクターに投資したかはわかりやすい。利益を出しているし、「M&A戦略は成功」と思える資料。
■ 色使いがしゃれている。
■ シンプルでいいが、出した利益は、8年間で創出した利益よりも、直近の一年間の利益を出してくれた方がいい。
■ 投資回収より収益性を語らなくてはならないが、どれだけ投資金額を回収できたか、のような印象を受ける。
■ 時価総額小さな会社であるのに株価を意識した資料であり、意欲がうかがえる。右肩上がりのビジュアルで将来に期待を持たせている。

注1：コメントの1、2、3…の順番と、ご案内等に記載の審査員の順番は無関係です。

注2：コメントは審査員一人につき一つの番号ワケに限りません。個別審査、合同審査会等、様々な場に出た評価をランダムに載せています。

注3：コメントに重複する部分があっても、複数の審査員から出た意見ということで、集約せずにそのまま掲載しています。

当社は、今後もわかりやすい情報発信に努めるとともに、更なるIR活動の充実に取り組んでまいります。

以上